

TOTO

2ハンドルシャワー金具

TM116型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	



警告



禁止

寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



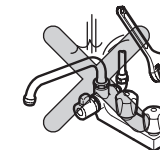
注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

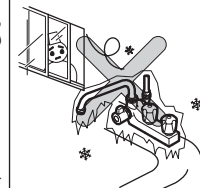


必ず実行

寒冷地用

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
 また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

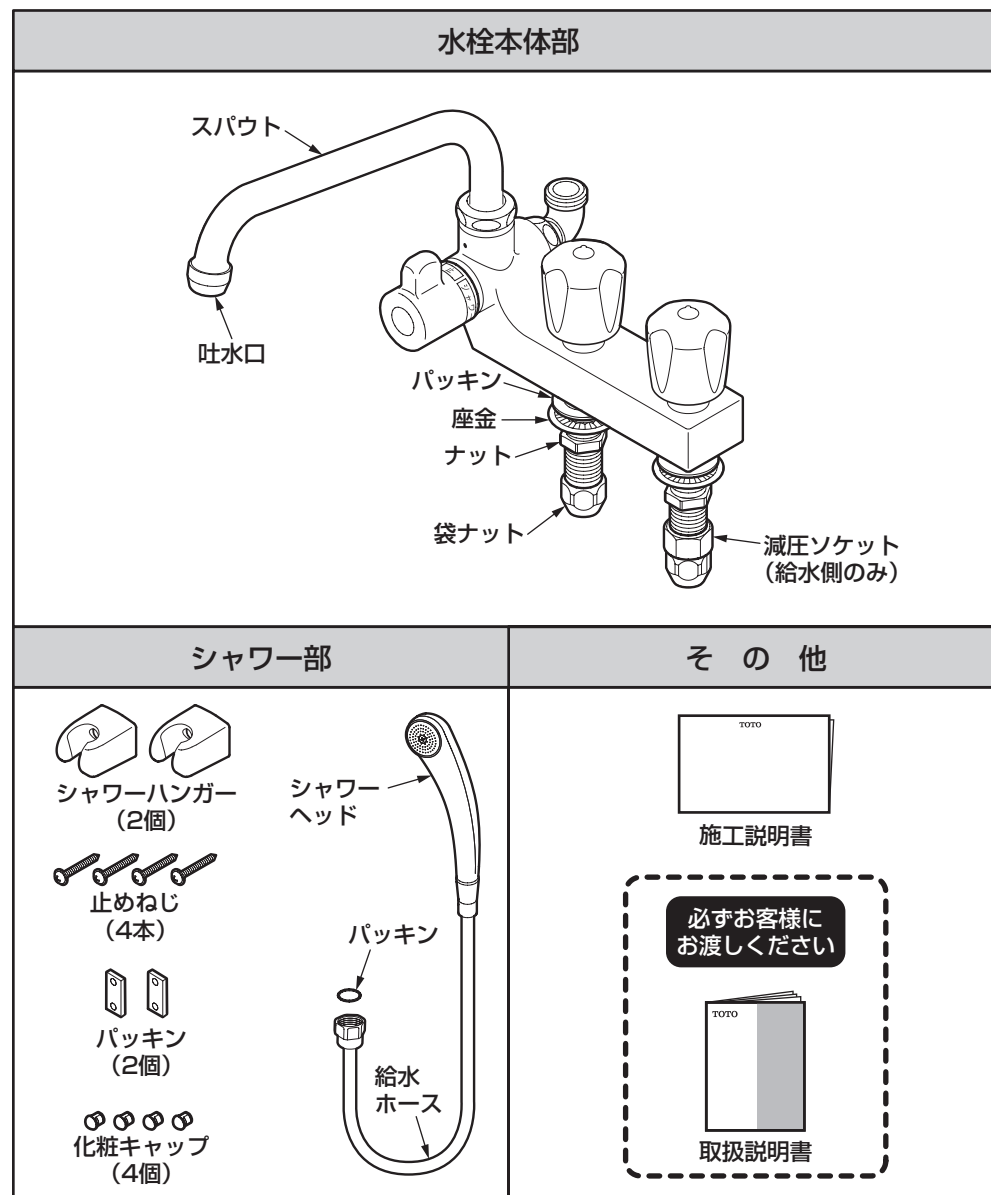
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3 取り付け前に

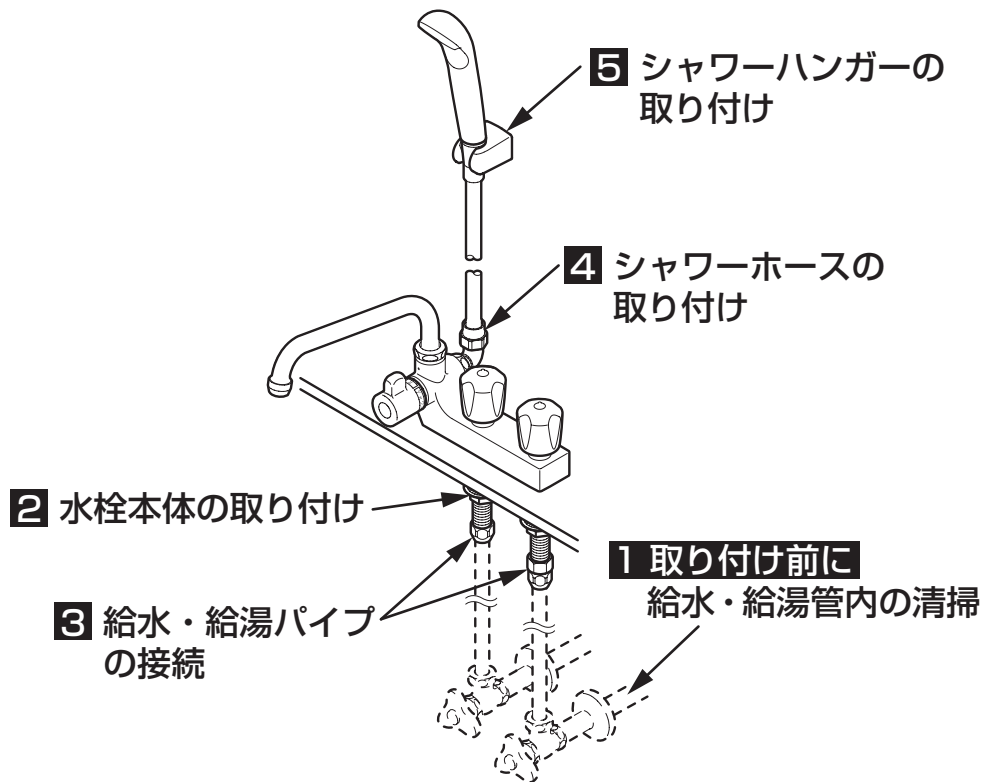
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ① 吐水量が少ない
 - ② 温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



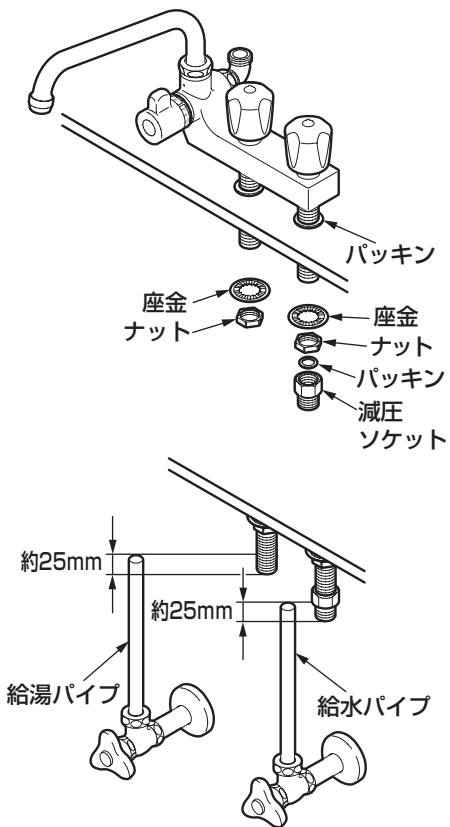
重要

2 水栓本体の取り付け

- ① 取付穴周囲の汚れを取る。
- ② 本体が正面を向くように仮固定する。
- ③ 給水圧力が0.2MPa以上の場合、本体の給水側に、同梱の減圧ソケットを本体脚部に締付専用工具で締め付ける。
- ④ 給水・給湯パイプの必要な長さを確認し、切断する。

注意

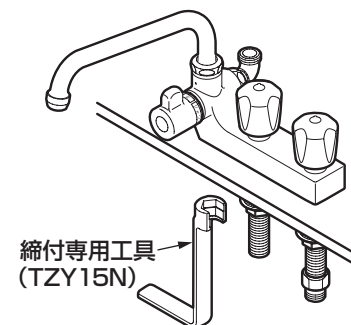
パイプの差込代は約25mm確保してください。



- ⑤ 本体を本固定する。

注意

固定には別売品の締付専用工具 (TZY15N) を利用して確実に締め付けてください。



裏面へつづく

3 給水・給湯パイプの接続

- ①給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に差し込む。
- ②パッキンをパッキンガイドに入れ、本体脚部に押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。
- ③さらに締付専用工具で1回転以上締め付ける。

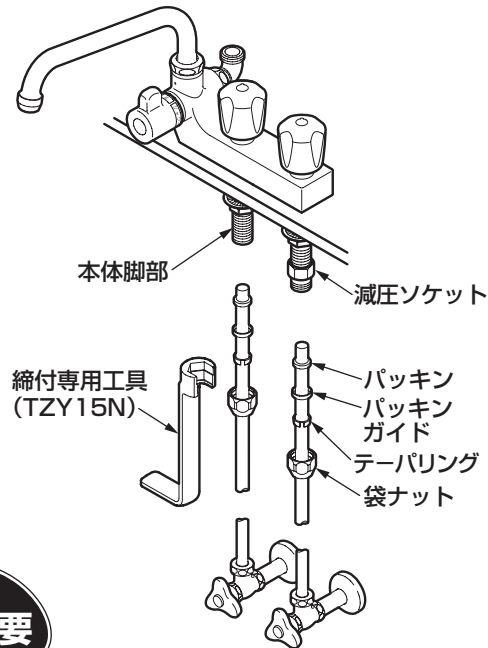
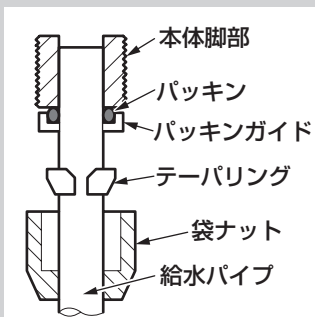
注意

抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

注意

袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番で、向きを間違えないようにして接続してください。

水漏れのおそれがあります。

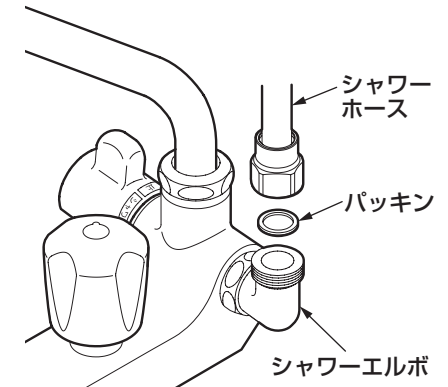


4 シャワーホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

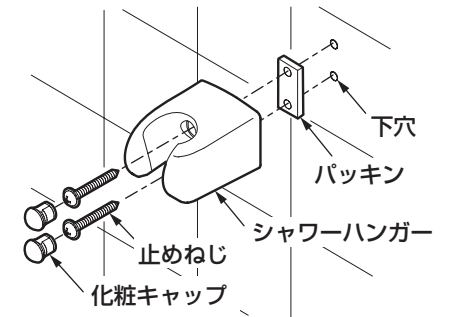
注意

パッキンが入っていることを確認してください。



5 シャワーハンガーの取り付け

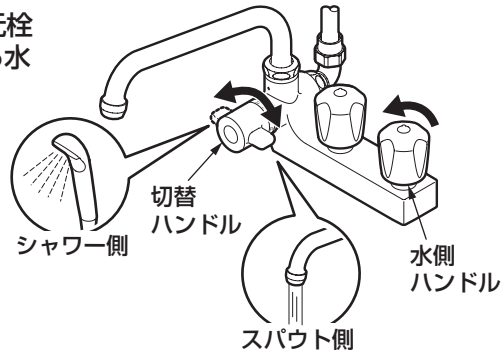
- ①下穴を開ける。
※取付位置は「5 完成図」を参照
- ②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④化粧キャップをねじ穴に確実に差し込む。



7 施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。



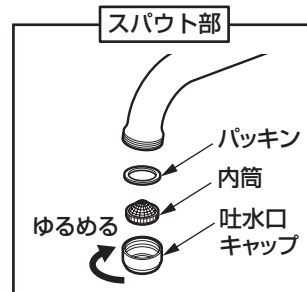
2. 吐水口キャップの掃除

取り付け後は必ず吐水口キャップを掃除してください。

吐水口キャップが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

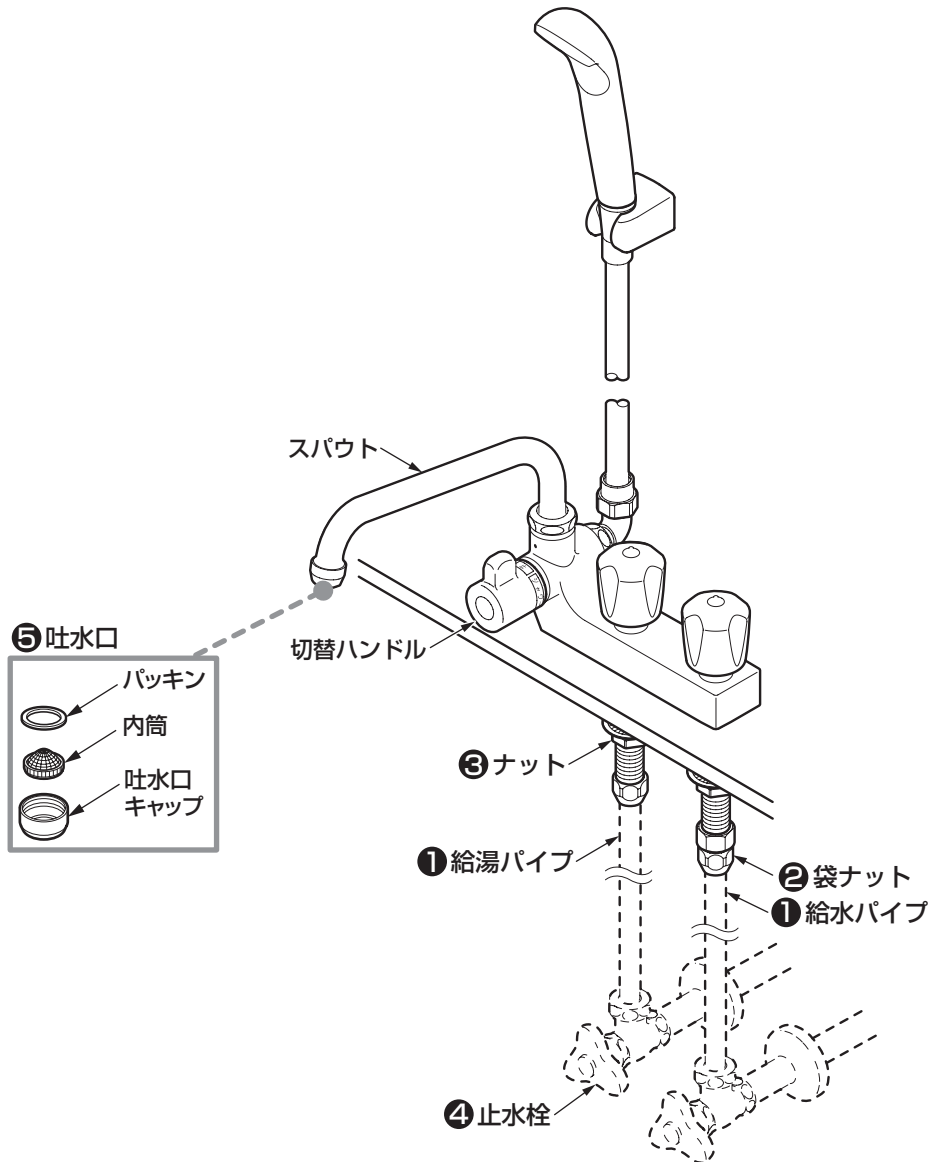
※吐水口キャップを掃除する際は、必ずハンドルを閉めてから行ってください。
(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



8

点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯パイプはしっかり接続されていますか？

② 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ 6-2 - ③ 「給水・給湯パイプの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ 水栓本体のナットは確実に締め付けていますか？

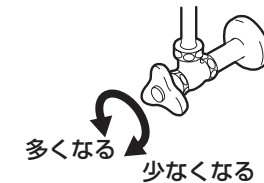
➡ 6-1 - ② 「水栓本体の取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調整する。



⑤ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

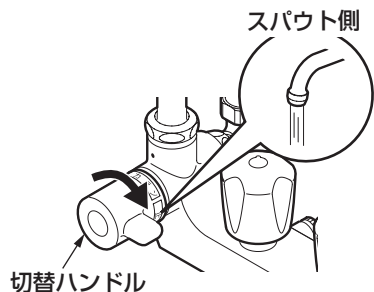
寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

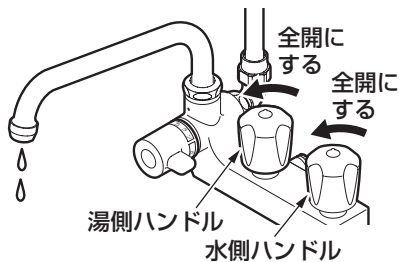
水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜かず凍結のおそれがあります。

重要

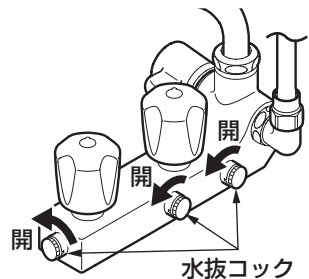
下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。



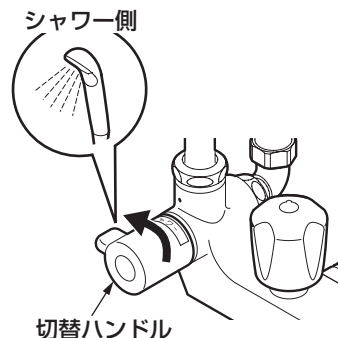
1. 切替ハンドルを右側（スパウト側）に回す。



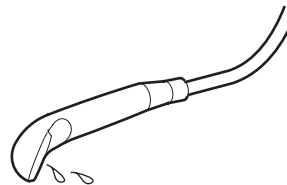
2. 湯側・水側ハンドルを全開にして水栓内の水を抜く。



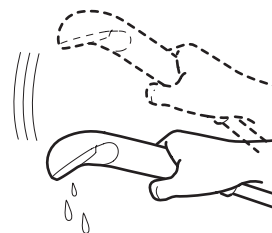
3. 水抜コック（3カ所）を開ける。



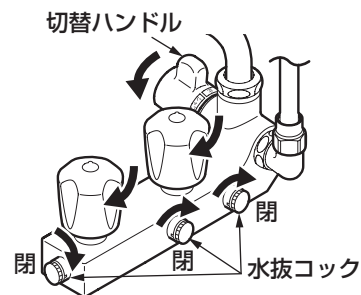
4. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを左側（シャワー側）に回す。



5. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。



6. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



7. 水抜き完了後は、必ず水抜コック（3カ所）を閉め、切替ハンドルを右側（スパウト側）に回し、湯側・水側のハンドルを閉める。（水が出ない状態）

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。